



ながまつ内科・小児科クリニック クリニックニュース

3密（密接 密集 密閉）を避けましょう！

感染対策は マスク着用、手洗いが基本です



さいごまで在宅医療

「40代の膵癌を患った女性の看取り」

みなさん、こんにちは。コロナに振り回される中、もうお盆の時期になりました。昨年12月、腹痛を主訴に一人の若い女性が来院されました。「先生、最近胃の付近が痛くて、食欲がありません。」と言われ、エコー検査を行いました。ちょうど膵臓の真ん中に大きなしこりがみつき、他院を紹介しました。のちにお母さんから聞いた話では、紹介先の病院でいきなり

「余命半年の進行膵癌です。」と言われたそうです。

さぞ、こころが砕けそうな中、ひとりで車を運転し、自宅まで戻ってこれたと思います。それから、抗がん剤治療を受けたようですが、効果がなく、ご本人の希望で在宅医療に移行しました。在宅と言っても、本人のほか、同居者は子供だけですので、療養の場所を実家に移し、酸素投与や痛みに対する持続皮下注射などの緩和治療を行いました。入院では到底できない「タバコが吸いたい」という希望もかなえることができました。

母親や姉妹の昼夜を問わない献身的な介護や子供たちの母親をいたわる言葉に包まれて、さいごまで充実した日々を過ごされました。

私達は「若いうちは、がんにはかからない」、「死ぬのは80を過ぎてからだ」と自分の都合のいいように解釈しています。

今から500余年ほど前、本願寺第8代御門主の蓮如上人(れんにょしょうにん)はご自身で書かれた御文章の白骨の章の中に **老少不定(ろうしょうふじょう)**

「死ぬ順番に老いも若いも関係ないよ」と書かれています。

コロナとは関係なく、我々はずっと老病死と隣り合わせです。訪問診療では、日々気づかされることが多いですね。誠にありがたいことです。



当院は院内処方です。院外処方より3割程度医療費軽減！